



参議院議員 参議院比例区第1総支部長

平戸航太

【プロフィール】

- 1987年7月生まれ(39歳)
- 長崎市生まれ伊王島育ち
- 2児の父
- 九州大学大学院修了
- (株)日立製作所で設計者として勤務
- こくみん政治塾第1期生
- 参議院議員(全国比例区・1期)

【所属委員会】

- 予算委員会
- 国土交通委員会
- デジタル社会の形成及び人工知能の活用等に関する特別委員会

【党役職】

- エネルギー調査会事務局次長
- 選挙対策委員会事務局次長
- 経済調査会副会長
- 国会対策委員会副委員長
- 安全保障調査会(外国人土地問題WT)事務局次長

#メイドイン=ジャパンを増やす

「平戸航太」3つの政策



産業の力で魅力あふれる未来をつくります



誰もが心豊かに働き、成長を実感できる**職場**をつくります



将来にわたって安心して**暮らす**ことのできる社会をつくります

2025年7月の初当選から早1年。

皆様からの力強いご支援のお陰で、参議院議員として議席をいただき、国政の場で職務に取り組んできました。心より感謝申し上げます。

この1年、現場からいただいたお声を国政に届けるべく、本会議登壇(2回)、予算委員会(2回)、国土交通委員会(5回)、デジタルAI特別委員会(6回)において国会質疑に立ち、政府に対し課題解決のために議論を重ねてきました。

電機連合組織内議員として、「政策・制度は変えることができる」という信念のもと、これからも国会論戦を通じ、「産業」「職場」「暮らす」という3つの柱を軸に、政策実現に向けて全力で取り組んで参ります。

参議院議員 **平戸航太**



平戸航太の議員活動 2025.7▶2026.7

※主な国会質疑を照会します

'25

参議院議員選挙
(7月20日)

初当選

第218回 臨時国会
(8月1日～)

初登壇

第219回 臨時国会
(10月21日～)

国土交通委員会
(11月20日)

初質問

デジタル・
AI特別委員会
(11月28日)

'26

第220回 通常国会
(1月23日)

第221回 特別国会
(2月18日～)

予算委員会
(3月19日)

デジタル・
AI特別委員会
(4月22日)



初当選。ここからが真のスタート!

第27回参議院議員選挙(全国比例区)にて92,137票という大変重みのあるご支持をいただき、初当選を果たすことができました。

技術者として培った現場の経験から、「ハード・ソフト・サービスを融合した統合的なモノづくりの力こそが、日本を再び強い国へと再興できる」と確信し、「#メイドインジャパンを増やす夏!」をスローガンに全国各地で現場の課題解決に向けた施策を訴えました。

7月29日から6年間の任期が始まり、8月1日には皆様から託された期待を背負い初登壇。当選は通過点に過ぎず、ここからが真のスタートです。



「土地境界問題」への早期対応を 金子国交大臣に求める

参議院議員平戸航太として初めての国会質疑に立ちました。全国の仲間の皆様から寄せられた声に基づき「能登半島地震に伴う土地境界問題」について、生活再建の基盤となる土地の整理は、地域の将来にも直結する最重要課題であり、人口の定着と担い手の確保につなげるためにも、さらなる加速と早期対応を国交大臣に求めました。また「インフラDXの加速に向けた官民連携」「外国土地取得への規制強化」「インフラの脱炭素化」なども取り上げました。

デジタル分野の国家戦略について小野田担当大臣に論戦を挑む

日本では2035年に最大45兆円の「デジタル赤字」が試算されており、国際競争力の格差拡大が懸念されています。国産AIの重要性が高まる一方、AIや半導体を自前で持たない構造的課題が顕在化し、信頼できる国内基盤の整備が急務となっている認識を踏まえ、AI・デジタル分野の国家戦略について小野田担当大臣と議論しました。

国会召集日に衆議院は解散。開票日までわずか16日間の極めて短期間での衆議院総選挙が行われました。国民民主党は候補者104人を擁立し、全国各地で政策を訴えた結果、28議席を獲得しました。

「産業・職場」の課題解決に向け 片山財務大臣らに対応を求める

不確実性が増す国際情勢の中で、石油製品やレアアース等の供給不安が深刻化し、「事業活動に切実な影響を及ぼしている」との声があり、安全保障に係る課題認識を取り上げました。備蓄放出と出荷状況を総合的に把握し、供給監視体制の強化が不可欠です。

また、「国際海底ケーブル」を取り巻く安全保障上の課題、賃上げと投資を支えるための「少額減価償却資産」の対象額見直しの必要性、「エアコン2027年問題」に対する理解促進の重要性、さらにはスポーツ振興の強化に向けた課題を片山財務大臣はじめ各大臣に提起しました。



宇宙産業を持続可能な基幹産業へ

持続可能な宇宙産業の育成に向け、打上げ目標と現状の乖離や開発現場のリソース逼迫について、政府の見解を求めました。

政府からは、「H3ロケットなどの早期打上げ再開や宇宙戦略基金を活用した民間支援を進める」方針が示され、小野田担当大臣からも「日本の強みを活かして国際的な存在感を高める」との決意がありました。

国が司令塔として、人材や予算を適切に配分し、宇宙産業を持続可能な基幹産業へ成長させられるか、着実な環境整備が必要です。



国土交通委員会
(4月23日)

航空・エネルギー課題について 政府に対し具体的提言

航空ネットワークの持続可能性については、足元の急速な燃料費高騰に対し、現行の激変緩和措置では不十分であり追加的な支援策の必要性、計画された空港整備がほぼ整った今、ガソリン税の暫定税率廃止と同様に、「航空機燃料税のあり方」を改めて検証・見直すべきと訴えました。

また、都市政策とエネルギー政策との連携による「eメタン、バイオガス」の社会実装、大型変圧器など重電機器の輸送円滑化についても政府の見解を求めました。



国土交通委員会
(5月19日)



持続可能なまちづくりの実現に向け 金子国交大臣の決意を問う

スポーツ施設を軸とした地域活性化を推進するため、「特定業務施設等誘導地区」の創設や財政支援策など、国による強力な後押しを求めるとともに、国交省(ハード面)とスポーツ庁(ソフト面)が省庁横断の枠組みで、モデル地域へ重点的な伴走支援をすべきと訴えました。

また人口流出と成長、両方の現場を見た経験から、地域特性を活かした持続可能なまちづくりが重要。制度を機能させる国の強いリーダーシップが不可欠な中、自治体や民間を巻き込み「令和のまちリノベーション」をどう成し遂げるのか金子大臣の決意を伺いました。

参議院本会議
(6月12日)

初登壇

デジタル・
AI特別委員会
(6月17日)

個人の権利保護とデータ利活用の両立に向け 政府に対応を求める

「デジタル行政推進法等改正案」及び「個人情報保護法等改正案」について初めての代表質問に立ちました。機微な情報の保護が「努力義務」にとどまっている現状では、国民の不安を払拭することは困難です。真のデジタル化には「権利保護」と「データ利活用」の両立が不可欠です。

目指すべきは、国民からの信頼を礎に高度な技術と適切なガバナンスによって、データを安全に使い、社会課題の解決と経済成長を成し遂げる社会です。本改正案が、真に国民の権利と命を守り、わが国のデジタル・AI産業が世界で輝くための実効性のある制度となることを要望しました。



参議院本会議
(7月8日)



次世代資源として下水インフラの活用について 金子国交大臣に問う

中東情勢を踏まえた上で、老朽下水管の緊急対策を遅滞なく進めるために、国による直接的な財政措置を求め、政府からは「価格上昇を考慮し必要な予算を確保する」と答弁がありました。

また、循環型社会の構築に向けて、下水インフラを「次世代資源」として活用する重要性を訴え、金子大臣から「下水汚泥の肥料・エネルギー利用は新たな産業育成の観点からも重要課題である。関係省庁と連携し、下水の資源としての有効活用に取り組んでいく」との前向きな答弁がありました。

デジタル・
AI特別委員会
(7月8日)

ICT機器の価格高騰・長納期化

AI需要の急拡大に伴うICT機器の価格高騰や納期の長期化について政府に対応を求めました。

国内の供給力強化や公共調達における価格変動を踏まえた柔軟な契約変更の必要性は確認できたものの、足元の価格高騰に直面する事業者への金融支援については既存制度の活用にとどまり、具体的な追加対策は示されませんでした。現場の負担軽減につながる実効性ある支援策を政府に求め続けていきます。



引き続き、現場の皆様の声を国会に届けます



国民民主党は「政策本位」「対決より解決」の旗を掲げて、あらゆる壁に挑んできました。



30年変わらなかった「103万円の壁」を動かし、
50年変わらなかった「ガソリン暫定税率」廃止も実現。

現役世代、働く納税者、生活者のために「壁」と戦い、動かしてきたのが国民民主党です。
次なるチャレンジは「社会保険料の壁」。これからも粘り強く、「壁」を乗り越えていきます。

実現した 政策

- ① 「年収の壁」178万円へ引き上げ (年収665万円まで(給与所得者の約8割)。年収665万円から2,545万円もほぼ同様の減税額)
- ② ガソリン暫定税率の2025年内の廃止
- ③ 自賠責保険料約6,000億円の一般会計からの繰り戻し
- ④ 高校生の扶養控除の維持
- ⑤ 自動車税の環境性能割の廃止
- ⑥ 大胆な設備投資減税の導入

平戸航太、全国巡回中！ 皆様のもとへお伺いします。是非お声がけください。

国会閉会中はもちろん、開会中も合間を縫い、全国各地の現場を訪問しています。組織内議員として、各職場にて
国政報告行い、「政治をより身近なもの」として感じていただけるよう、丁寧な意見交換を重ねています。
働く仲間の皆様との対話を通じて、政策制度の改善につながるよう「産業の発展」「職場の労働環境」「日々の暮らし」
に関わる課題の把握に努めています。平戸航太の活動の原点は、常に「現場」にあります。



公式LINEで 日々の活動発信中

登録は簡単、約2ステップ！
ぜひ登録をお願いします。

登録はこちら➡



公式LINEのほか各種SNSでも日々の活動を発信中！



X (旧Twitter)



YouTube



Instagram



TikTok



Facebook

一緒に「新しい答え」をつくりませんか!?
党員・サポーター募集中

#メイドインジャパンを増やす
登録はこちら➡

